



シンフォニア通信 第22号



東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホームシンフォニア

～ごあいさつ～

節分、立春と暦の上では春を迎えておりますが、今年の冬は特に厳しい寒さが続いているようです。

先日は東京では 45 年ぶりとなる大雪に見舞われるなど、梅のつぼみもなかなか膨らんでこないようですが、入居者の皆様は来る春を待ち望んでいるようです。

施設では、節分には裏面の写真のように、施設に舞い込んだ鬼たちを全員で「鬼はそと」と追い払う一方、福を大声で「福はうち」と呼び込み今年一年の幸せを願ったところです。

そして 3 月 1 日には例年と同様「桃の節句・雛祭り」の行事を行うため、現在お雛様の飾りつけなどその準備を進めているところです。

当日はご家族の皆様とともに桃の花と甘酒、そして音楽で楽しいひと時を過ごしながら、春の訪れを待ちたいと思います。

また、この時期はインフルエンザやノロウイルスの感染が大変危惧されております。ご家族には面会や食べ物の持ち込み制限などでいろいろとご協力をいただき、ご不便もおかけしておりますが、おかげさまで現在まで発症者は出ておらず職員も安堵しているところです。

気温が高くなるとこれらの感染症も収まってくると思われまますのでご辛抱いただきたいと思ひます。

さて、シンフォニアも今年は開設 3 年目を迎えることとなります。

1 年目、2 年目と市内でも初のユニットケア一型特養として、施設の特性を最大限生しつつ、入居者一人ひとりと職員が家族のような親しい関係を築くなかで理解を深め、かゆいところに手が届くような介護を目指そうと努めてまいりましたが、今年はこの 2 年間の経験をもとに、更に多くの人たちと交流を図りつつ、多様なニーズに応えられるようステップアップして行きたいと思ひます。

そして一人ひとりの生活に潤いや豊かさを感じられるような介護に結び付けていきたいと考えております。

ご家族のご支援ご協力が強い支えともなります。よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 大家族

施設長 樫村正男

～イベント紹介～



2014. 2. 3 節分



赤鬼と黄鬼に変身した職員は金棒を振り上げ、利用者様のいる豆まき会場へ！



利用者様お待ちかね。豆まき開始。



怖がっている利用者様に困惑する鬼2人



2014. 1. 10 フラダンス



“レイピカゲ”によるフラダンスが行われました。いつも素敵な衣装で華やかなフラダンスとウクレレに合わせて歌を歌われました。ウクレレの音色が心地よく、皆様聞き入っていました。